

えがおナビ「ふわふわのウサギ大好き♡」



よこぜ議会ナビは
横瀬町議会が皆さんに
年4回お届けする議会発行の
広報紙。議会審議の経過や議員の
活動を解説とともにわかりやすく
お伝えしていきます。

クイズdeよこぜ「これはどこでしょう?」こたえは裏表紙



よこぜ

No.142

議会ナビ

まち風景ナビ「おかげさまで20周年♪」



ストロベリー&ビンゴウオークふれあい動物園にて

議会ナビ「長瀬町 自然の博物館にて」



議会のことを
コンパクトにお知らせ



議会ホームページも
あわせてご覧ください

横瀬町議会

検索

2024年春号（令和6年3月定例会）

P.2

令和6年度予算を可決
一般会計43億4000万円
議員はココに注目!

「小学校・中学校卒業生の
声を聞いてみた」

今号の記事関連動画

P.5

7名の議員が登壇
町の考えを問う[一般質問]



YouTube
横瀬町公式
チャンネル

審議



議員はココに注目!

3月定例会

(3/7~3/11)

幸せを感じる

まちづくりのために



医療・福祉

問 秩父地域の医療体制をさらに充実できるよう連携協力していくと記載されているが、どのようなことを想定しているのか。

答 地域医療分野の救急医療の今後をどうするのか、徐々に厳しくなる医療をどのように守っていくか、秩父市立病院の建て替えの話が進んでいる。町民にもよい形に持っていきたいので積極的に発言と相談をしていきたい。

問 医療に関して議会は全面的に協力している認識である。また、秩父市議会と協力して、今後の医療について議論している。執行部側と情報の共有しながら進めたいが可能か。

答 秩父地域医療協議会の席で秩父市事務局より「現

在、進めている市立病院の建て替え準備室と連携して」との発言があったので、ぜひ連携してほしい、と話をした。今後も適した場所とタイミングで積極的に発言していく。

問 高額医療費の申し込み人数と前年度の人数は。

答 令和4年度1358件の給付を行い、額は722万2千円。令和5年度はまだ年度途中だが、件数は同程度である。金額は既に953万6千円に達している。

問 带状疱疹ワクチン接種の公費助成の金額は。

答 生ワクチンに対しては1回接種で5000円、不活性ワクチンは2回接種で1回に対して1万円、2回合計2万円の助成になる。

問 高齢者補聴器購入費助成金の対象年齢・基準値・助成金額は。また、特定検

診に聴覚検査の導入を考えているか。

答 65歳以上で聴力レベルが40デシベル以上の方が対象になり、上限額2万円の助成になる。聴覚検査は検討していく。

問 生活支援事業の新規事業、オンラインカウンセリング委託料の詳細は。

答 カウンセリング自体が町民に馴染みがないと思うので、まずはカウンセリングについての啓発を行う。その後、なんでも相談室の拡張機能としてオンラインカウンセリングの活用を考えている。

問 男子HPVワクチン接種、この年齢に定めた根拠は。

答 既に女性の子宮頸がんのワクチンの対象が小学校6年生の女子から高校1年生の女子で設定している。男子

の分も同じ形としている。

問 高齢者サロン設置に関して、今後どのようにしていくのか。また、多世代型サロンであることが重要だと思いがいかか。

答 立ち上げ支援を含め、対話をしながら寄り添っていき、小さなグループも含め、いろいろな所でサロンが増えていくように進めていきたい。また、多世代型サロンは、現時点では介護予防事業のため制限があるが、多世代型にしていくような検討していきたい。



サロンで楽しく健康維持!

慎重



当初予算総額 69億778万7000円を可決

一般会計43億4000万円 特別会計19億667万4000円 公営企業会計6億6111万3000円

子育て・教育

- 問** 図書館管理運営事業の増額の詳細は。また、人手が手厚くなるのであれば、小中学校図書室への休み時間の司書派遣はできないか。
- 答** 図書館職員増員の費用。学校図書室への派遣は考えていないが、今後必要に応じて検討していきたい。
- 問** 自転車用ヘルメットの購入補助金が計上されているがどのように周知していくのか。
- 答** 小中学校への周知が最優先と考えている。また、町民へは町の広報紙とホームページを活用して、それぞれ周知する。
- 問** 不登校児童生徒がフリースクール等に行く場合は、有料となる場合があるため、金銭的補助を出したらどうか。公的機関に補助してもらったことが保護者の励みにもなるのではないか。
- 答** 現状、金銭的補助制度は考えていないが、考え方はある。制度としては公平性の確保等難易度が

暮らし・防災



家族だから守りたい

- 高い。一方で、様々な形で支援は現在もしており、今後とも個々の状況に応じた支援を行っていききたい。
- 問** 教職員ストレスチェック業務委託料の中に、高ストレス者がいた場合、産業医の面談もしくは保健師面談を行っているか。
- 答** 必要な方に対しては、個別に面談を行うが、今のところ面談を行った方はいない。
- 問** 狂犬病予防接種の接種率はいくつか。また、高めるための周知は行えるか。
- 答** 接種率約68%。登録されている全ての犬に、狂犬病予防集合注射の案内や、町広報で予防接種実施のお願いをしていく。

役場・官民連携



災害時初動訓練

- 問** 災害時初動訓練は年何回行うのか。
- 答** 年に1回、6月に訓練を行っている。そのほかにも町民全体で訓練ができるか検討していく。
- 問** 外部人材活用事業の詳細は。
- 答** 地域活性化起業人の活用事業で、具体的にはこれまでも事業展開しているITよろず相談等のリングロー、DX関連のエージェントスミス、よこらばや小規模自治体の連携等のLIFULL等その他数社を検討中。
- 問** 集落支援員設置事業の詳細は。
- 答** 1名分を予算化した。詳細は決まっていないが、職員の意見等も参考にしながら決めていきたい。

ウェルビーイング

下水道事業会計予算

- 問** 現時点でウェルビーイングを感じている町民は、どれくらい把握しているか。
- 答** 1000人アンケートの回答者のうち、53・4%が感じ取れている。5年前の指数では38・2%なので、少しずつではあるが増えている状況である。
- 問** 令和5年度、企業会計への移行に伴い、第4条予算で不足額が生じてきている。今後どのような状態が予想されるか。
- 答** 資本的収入が資本的支出に対して不足する額6965万4000円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額7万6000円、引継金56万6000円、過年度分損益勘定留保資金5074万4000円、及び当年度分損益勘定留保資金1759万8000円で補填。

ウェルビーイングとは 身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念で、「幸福」と翻訳されることも多い言葉です。

議会はココに注目!

2月臨時会
[2/20]

3月定例会



3月定例会での主な質疑

3月定例会

補正予算質疑

問 ふるさと納税額が大幅に減っているが、要因は。

答 大変人気であった天然水保存水が、国の経費基準の厳格化により経費率が上がってしまった、内容変更が余儀なくされたこと、シャインマスカットの調達が難しくなったことが要因。

問 育成会・子ども会の廃品回収の量に応じて支払われる有価物回収報償金に関して、予算の約半分しか利用されておらず、廃品回収自体が困難な状況にあるが、今後の対策は。

答 コロナの関係で、廃品回収が開催できなかったことが利用減に影響している。また、回収物の買取額が下がってきているため、現在1キログラムにつき5円の報償金を来年度は8円にする予定。

問 高齢者サロン設置等補助金の不要額について、スリム化を図ったのか、結果としてそうだったのか。

答 新規の立ち上げを予定して、結果設置されなかった分の減額があるが、サロンの皆様にご協力をいただきスリム化をした部分もある。

新年度予算に対して賛成討論がありました

宮原みさ子議員

第6次横瀬町総合振興計画の後期基本計画がスタート。重点テーマ「対話」連携「チャレンジ」を実践しつつ、町民の皆様がその人らしい幸せを実感できるよう「カラ

フルタウン」の実現に向けて、町にも住民にも、最適な行政サービスを行ってほしいと願い、町民のために安心・安全で健康で楽しく地域で生活できる行政運営を期待し、今期予算に賛成します。

賛成…○ 反対…× 欠…欠席 除…^{じよせき}除斥 ※…議長

令和6年2月臨時会、3月定例会 審議した議案とその結果		審議結果	森沢望美	関貴志	町田多	向井芳文	黒澤克久	宮原みさ子	新井鼓次郎	内藤純夫	若林想一郎	関根修	小泉初男	若林清平
2月臨時会														
条例改正	横瀬町手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
補正予算	令和5年度横瀬町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和5年度横瀬町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
3月定例会														
条例改正・廃止	横瀬町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	※	○	○	欠	○	○	○	○	○
	横瀬町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	※	○	○	欠	○	○	○	○	○
	横瀬町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	※	○	○	欠	○	○	○	○	○
	横瀬町空家等対策協議会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	※	○	○	欠	○	○	○	○	○
	横瀬町土地開発基金条例を廃止する条例	可決	○	○	○	※	○	○	欠	○	○	○	○	○
補正予算	令和5年度横瀬町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和5年度横瀬町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和5年度横瀬町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和5年度横瀬町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和5年度横瀬町下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
令和6年度予算	令和6年度横瀬町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和6年度横瀬町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和6年度横瀬町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和6年度横瀬町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和6年度横瀬町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
その他	第6次横瀬町総合振興計画基本構想の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
人事	横瀬町教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
選挙	横瀬町選挙管理委員会委員及び同補充員選挙について	選任	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○



進化する『よこらぼ』

向井芳文 議員

(まち経営課長) 課題を基にブラッシュアップをしていく

問 昨年10月より、総括とブラッシュアップのために一時募集休止をしている『よこらぼ』事業だが、今後の展望は。

答 まち経営課長 利益・効果として、都市部からヒト・モノ・カネ・情報を、低コストで継続的に呼び込むことができています。また、関係人口・交流人口が拡大してきています。課題として、町内での知名度並びに事業後の町内定着率の低さ、役場のマンパワー不足等がある。また、それらに対するブラッシュ

アップとして、よこらぼ採択No.8横瀬クリエイティブティークラスで、町民へのさらなる周知やよこらぼを体感できる取組、事業継続への助成金等も含めた支援、担当セクションの創設等を考えているとともに、これまでは多くの企業等に関わっていただくためテーマ設定をしていなかったが、今後は町の課題等をテーマとして設定することも考えている。



町長の考える対話とは

黒澤克久 議員

(町長) まずは町全体で対話を実践する場をつくり、対話を学んでいく

問 対話は大切なことであり、必要なことと理解しているが、一方で対話の難しさなど、ハードルが高い面もあると思っている。町が考える対話について、方法、進め方、着地点などを質問する。

答 町長 一つは相手を尊重すること。もう一つは聞く・傾聴すること。町のあちこちで対話がなされる状況をつくり、それが文化になっていく。町中に聞き上手をつくるような方向で進めたい。受け取りも含め、目指すことは大きく3つある。①

個人のウェルビーイングに結びつく個人ベースでの幸福感。②役場の福祉分野でのサービスの精度を上げる。職員が対話を通して、今まで気づかなかった思いや困り事にもっと寄り添う。もっと解像度を上げて受け取る。③対話をすることで一体感や町の皆さんが町政に参加しやすくなったり、勢いが出たり、連携や連帯がしやすくなる流れができればと思っている。それらを目指しながら、来期は対話に力を入れていきたいと思っている。



切れ目ない子育て支援を

宮原みさ子 議員

(町長) 一人一人に寄り添える行政サービスの提供を目指す

問 母親の産前産後ケアの取り組みと産後ドゥーラことばサーチの推進、実施についての考えは。

答 健康子育て課長 町では産前産後サポート事業や産後ケア事業を実施。母子健康手帳交付時より、一人一人に寄り添った支援を行っている。訪問や相談、育児ヘルパーを自宅に派遣する育児支援家庭訪問事業があり、支援計画を立ててサービスを提供している。産後ドゥーラの制度は今は難しいと考える。引き続き現状のサービスを活用して対応していく。

問 ヤングケアラー支援の現状と取組は。

答 健康子育て課長 支援が必要であっても発見の難しさがあり、相談しやすい体制づくりに努めている。支援の必要性をHPに掲載する。教育委員会を通じ小中学校のご家族にチラシを配布し周知をしている。支援が途切れないよう包括的な支援を行っている。

様々な産前産後支援



町政について、各議員がみずからの政策提言も含めて町に考えを聞くのが「一般質問」。質問内容は、各議員が自由に決めることができます。

(1人あたりの質問時間は答弁含め60分)



7人の議員が登壇しました



災害へ備えての備蓄品は

内藤 純夫 議員

(総務課長) 災害備蓄品は計画的に入れ替え整備している

問 1月1日に能登半島で大規模な災害が起き、多くの避難所で物資の不足が叫ばれた。横瀬町も2本の国道が通行できなければ、支援物資が届かない可能性が高いと思われるが、災害に備えての現時点での備蓄品の数量は。

答 総務課長 災害備蓄品については、毎年度計画的に入れ替え整備している。水害・土砂災害等で800人の避難者を想定し、埼玉県と町で生活必需品と3日分の飲料水・食料を確保している。自宅に3日

分の飲料水・食料を備蓄していただくよう広報している。

問 全国の不登校の児童・生徒の数が29万9000人に及ぶが、横瀬町は不登校の児童・生徒に対し、どのような対応をしているのか。

答 教育長 初期・中期・後期の段階に分け、家庭訪問をはじめ、個に応じた様々な対応をしている。これからも、不登校にならないよう対応もしていく。

役場駐車場の災害備蓄品倉庫



総合振興計画に対する町民の声は

若林想一郎 議員

(町長) 町民の声を聴く機会を設け、誰にでも分かりやすい計画を目指す

問 総合振興計画に対して、よく分からないという声が多い。カタカナ語が多い点も含め、高齢者にも理解できるような分かりやすいものにする必要がある。計画策定に当たり、広く町民の声を聞くべきと思うが町の考えは。

また、数値化できない測定指標の達成の度合いの判断はどうしているのか。

人口減少は様々な施策が実施されているが歯止めがかからない。新たな取組が必要ではないか。

答 町長 計画策定に当たり、町民の声を聴く機会を設けている。計画を誰にでも分かりやすくするために不断の努力をしていく。達成の度合いの判断は町民アンケートに基づいて行っている。人口減少対策については危機感を持って対応していく。

完成した総合振興計画(後期)



消防団について

関 貴志 議員

(町長) 大切な存在なのでしっかりサポートしたい

問 災害現場に自家用車を使用して出動する際のマニュアルは。

答 総務課長 火災出動要領出動チェックシートの「出動準備・消防車での出動・個人での出動」の3項目のうち、マニュアルにされている「個人での出動」の内容は改めて分団長会議で徹底したいと考えている。

問 災害現場で無線や情報が届かない場合の対応は。

答 総務課長 ハザードマップの土砂災害警戒区域や、山間部で孤立する可能性のある区域をあらかじめ

想定し、連絡体制を整えて役場本部、自主防災組織、消防団の連携を確立する必要がある。

問 消防団員の確保について。

答 総務課長 団員の定数は144人だが、現在は128人と不足している状況である。団員の確保は課題と認識しているので、町の事業の際に消防団募集の広報活動を行い、確保に努めていく。

町を守る消防団員たち



本会議は原則公開、どなたでも傍聴できます。事前予約は不要です。役場3階にお越しください！

*議会だよりでは、要約版を掲載しています。



議会ホームページ



横瀬町・道の駅周辺施設の利活用について

町田 多 議員

(振興課長) さらに有効なものとなるよう努めていく

さらに魅力ある農村公園へ



問 農村公園周辺の利活用は。

答 振興課長 芦ヶ久保駅から、農村公園までの起伏ある斜面の「彩の森」を散策するコースは、魅力的なコースになると思う。また、農村公園を利用した演奏会や里山マルシェ等の開催を継続的に考えている。

問 あしがくぼ氷柱事業のアクセス道路等の町有化は。

答 振興課長 観光地維持管理施設は、以前より使用貸借を進めているので今後の影響等を考慮し、このエリアのみ、町有地化するのは難しいとの見解である。

問 消防団の今後と、新たな施設等の構築は。

答 総務課長 第4・5分団の統合に向けての協議を進めていたが、コロナ禍になり協議が中断した。今後、分団統合の話合いを進めていく必要がある。

問 道の駅と周辺環境整備について住民や来客者のアイデア募集を。

答 振興課長 魅力的で居心地のよい道の駅にするため、住民や多くの来客者にも魅力的なアイデアを募集する仕組みの構築は、効果的な方法だと思う。

委員会から報告します

福祉関係の計画について

総務文教厚生常任委員会

横瀬町高齢者福祉計画・介護保険事業計画等について、福祉介護課長より説明を受けました。質疑では介護保険料の改定や早期受診の重要性等がありました。

また、教育委員会報告では、教育長より説明を受け、質疑応答を行いました。

下水道事業について

産業建設常任委員会

横瀬町下水道事業経営戦略について、建設課長より説明を受けました。質疑では使用料や処理区域の検討、経費削減方法等がありました。

特別委員会の調査検討項目等について

議会改革特別委員会

1月19日に初回の委員会を開催し、調査検討項目（議会DX、委員会構成、議員定数、議員報酬）を確認しました。必要となるものについては逐次追加し、分野ごとに深掘りをして、町民が興味を持つように議論していくことになりました。

2月16日の2回目の委員会では、各常任委員会の構成について議論しました。常任委員会は複数委員会を基準として考え、協議していくことになりました。

条例の制定や当初予算等の可決

秩父広域市町村圏組合議会

2月7日の全員協議会では、諸報告を受け、議会運営を検討しました。2月14日の定例会では、2名の一般質問のほか、条例の一部改正、基金条例の制定、当初予算等の審議を行いました。



公開
します

令和5年度
議長交際費 計7万950円

議長交際費とは、議長が議会を代表して外部と公の交際を進める場合に必要とする経費で、慶祝費・会費・弔慰・見舞・賛助金などがあります。

令和5年度は賛助金、年末救援統一募金や会費等に支出しました。



表紙“クイズ de よこぜ” こたえは…「下横瀬橋」

下横瀬橋は中郷地区の横瀬小学校脇から横瀬川を渡り、川東地区を結ぶ大事な生活道路です。昭和40年に竣工され、初めは車道幅4.5メートルから始まり、平成元年竣工で上流側に1.5メートル拡幅され歩道の整備を行い、平成28年竣工で下流側への歩道整備とともに車道側の整備も行い、現在の下横瀬橋となっています。



えがおナビ 町民インタビュー

小学校・中学校PTA会長さんに 新入生に向けて伺いました！

Qこれから学校で学んでもらいたいことは？

A 小学校会長：人を思いやる気持ちを学んでほしい。
中学校会長：コミュニケーション能力と人間力を高めてほしい。

Q 学校生活で大切にしてほしいことは？

A 小学校会長：些細な事でも感謝する気持ちを大切にしてほしい。

中学校会長：人に流されず
自分の意見をしっかり持つこと。

Q 小・中学校PTA会長さん から保護者に 望むものは？

A 子供との会話を
大事にしてください！



(左)中学校会長 四方田剛之さん (右)小学校会長 平沼信哉さん

よこぜ議会ナビ

No.142

2024年春号(令和6年3月定例会)

発行：埼玉県横瀬町議会

〒368-0072

埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬 4545 番地

tel.0494-25-0119 fax.0494-23-9349

発行責任者：議長 新井鼓次郎

編集：広報常任委員会

委員長…宮原みさ子 副委員長…向井芳文

委員…黒澤克久・町田 多・関 貴志
森沢望美

次の定例会は **6月中旬 開会予定**

詳細は 横瀬町議会ホームページをご覧ください

議会活動・あれこれ

議会の透明化・活性化を目指して

【行政視察】長野県生坂村議会（1月26日）

議会改革の取組について説明を受け、意見交換を行いました。議員報酬の先進的な取組や、それに対する住民の反応や課題など、とても参考になりました。今後、横瀬町議会の改革に生かしていきたいと思えます。



医療の充実是最優先の課題

秩父の医療を考える会（2月5日）

秩父市議会と横瀬町議会で今後の秩父の医療について、意見交換を行いました。

意見交換の場の在り方について、今後の進め方について、秩父市立病院の改築について等、多くの意見があり、今後につながる会となりました。



さらに住みよい秩父地域のために

ちちぶ定住自立圏共生ビジョン説明会（2月9日）

横瀬町議会から3名の質問者があり、し尿処理場の統合に関する事、地域公共交通に関する事、秩父地域の高校存続に関する事等、活発な議論が行われました。



地域文化産業の発展に向けて

秩父町村議員クラブ研修会（2月14日）

研修会は「長瀬トリックアート 有隣倶楽部」と「県立自然の博物館」で行われました。全天候型レジャー施設として生まれ変わった有隣倶楽部では、カメラを構えてトリックアートを体験し、自然の博物館では、秩父に存在した太古の海「古秩父湾」を感じました。構成町村の皆野町・長瀬町・東秩父村議員との親睦も深め、今後も連絡・連携していきます。

